

第1回学校保健委員会 報告

7月3日（水）に第1回学校保健委員会を開催いたしました。学校医や学園の職員の方、保護者の代表の方、本校職員が集まり、健康診断の結果や学校環境衛生検査の結果についての報告、協議を行いました。



協議 「発達の段階に合わせた歯磨き指導について」

本校では、歯科検診の結果より、全体的に歯垢、歯肉の状況が悪化しており、ブラッシングに課題があることが分かりました。皆様からたくさんの御意見や御助言をいただきましたので、紹介させていただきます。

学校より

○本校では学部が上がるにつれて、歯肉、歯垢など口腔内が悪化している傾向がある。

学校歯科医によるブラッシング指導、昼の歯磨き指導、仕上げ磨きなどに取り組んでいる。

歯磨き指導は、学校と保護者が一緒に取り組むことが必要である。家庭でも「仕上げみがき」「仕上げの確認」をお願いしたい。



保護者より

（家庭での歯みがき指導の様子・質問など）

○舌の汚れや口臭が気になる。ブクブクうがいができないのでティッシュで拭き取っているが、うまく汚れが取れない。

→学校歯科医より

・頬と歯茎の間に食べかすが残る場合→ナップなどで拭きとることも必要。吐き出すことができれば少しでも吐き出す。

・歯ブラシの毛先程度の量の歯磨き粉を飲み込んでも基本的に問題ない。

・口臭の原因は歯磨きの不足だけでなく、口呼吸をしているということも考えられる。

○歯磨きを嫌がることについて

→学校歯科医より

・プラークが同じ場所に3日取り残されると炎症が起きると言われている。物理的にブラッシングで汚れを落とせれば何かに頼らなくてもよい。

・嫌がられて歯磨きをできなくなることが一番困る。無理なく今できることを続けてほしい。

・汚れが残りやすい箇所を把握して、先に磨く。残りの部分はさっと行えるとよい。

学園より

○月に1度、囑託の先生に検診してもらい、ブラッシング指導や磨き残しのチェックをしている。

○必要に応じて、仕上げ磨きを行っている。

学校医より

○絵カードは2次元なので歯の裏側をイメージしにくい。裏側も意識できるように支援できるとよい。

○仕上げ磨きは、プラスチックのグローブを使用して見るところをしっかりと作って磨いてあげることが大切。

○歯磨きを嫌がる場合、自分でできたという成功体験が大切。小さなステップで取り組んでほしい。1つできるとすぐに次のステップに行きたくなるが、「できた」というところで終わることが大切である。

